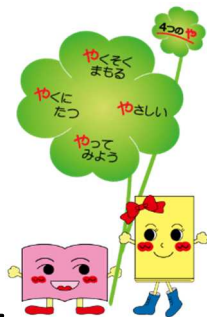


図書館だより

NPO 法人はまでら 4 つのや図書館
第 86 号 令和 4 年(2022) 11 月 2 日



～ 爽やか、ほのぼののニュース～

館長 由良 芳子

晩秋となりました。一週間もすれば立冬です。皆様いかがお過ごしですか。4 つのや図書館では、3 年ぶりに歴史探訪研修を土肥先生をお招きして実施しました。また、初めての「わたしの“推し”コンクール」の審査結果が出ました。久坂部羊先生、さいとうしのぶ先生からご講評も頂きました。両先生、お忙しい中をありがとうございました。



わたしの“推し”コンクール 総評ならびに審査結果



④読書感想文部門

⑤わたしのお気に入りの一冊部門

審査員 久坂部羊氏 (作家・医師)

感想文は単に「よかった」「おもしろかった」というのではなく、本の内容を知らない人にも、読み手の思いや感動が伝わるのが大事。そのためには、作品の全体像と、特に印象に残った部分を具体的に書く必要があります。さらにはその感想がユニークであれば、感想文そのものが魅力的になります。

応募作品にはいずれも書き手の作品に対する愛着と感動が込められていて、気持ちよく拝読させていただきました。はじめて書いた人もいらっしゃるようですが、どんな文章でも書けば書くほどうまくいきます。これを機会に、書き続けてほしいと思います。

⑥本の帯創作部門 審査員 さいとうしのぶ氏 (絵本作家)

本の帯とは日本特有のものであり、海外ではカバーもなく販売されることが多くみられます。本を開かずとも帯のキャッチコピーを見ることで、なんとなく内容を想像でき、思わず手に取りたくように工夫されています。ただ、帯は書店泣かせとも言われ、破れたりすることもあるので、帯は付けない、または小さなシールなどを使用するという出版社もあります。最近では、本の表紙は帯ありきで考えられることが多く、帯で隠れる部分には、重要な絵を入れないよう表紙絵を描きます。そして帯もデザインの一部として表紙に合った色や紙の素材選びをします。また、幅の広さも検討されます。

そこで、応募いただいた帯を実際の本に取り付け、写真を撮って検討させていただきました。用紙のご準備から紙の採寸までご自身でされたことを考えると、4 点のどれも甲乙つけがたく非常に悩みましたが、サイズ感、デザイン性、アピールの度合いなどをポイントに 1 点選ばせていただきました。

今回取り組んでいただいた方は、今後書店などで、きっと違った見方で本をご覧いただけるのではないかと思います。

<優秀賞>

④読書感想文部門

「クローンダッグ」下野瑞季さん (浜寺小 5 年)

⑤わたしのお気に入りの一冊部門

「和宮様御留」 瀧岡恭子さん (河内長野市)

⑥本の帯創作部門

「わけあって絶滅したけどすごいんです」
市ノ川満さん(浜寺昭和 3 年)

<社会福祉士をめざして>



9 月、堺市社会福祉協議会西区事務所からご連絡があり、社会福祉士を目指す大学生 2 名が実習の一環として来館されました。「地域活動推進」の視点から当図書館の状況を知りたいと質問を受けました。また、本の読み聞かせにも挑戦し、爽やかな表情で図書館を後にされました。後日、係長様より、お二人がまとめられた感想が届きました。(右枠内)➡

★はまでら 4 つのや図書館の理念 (やさしい、やくにたつ、やってみよう、やくそくまもる) というのはボランティアの精神を言語化したものだと思った。

実習期間中に会ったボランティアの人たちは、きっかけは様々だったが共通しているのは、やさしさや、挑戦しようとしている意思を備えていた。この理念を自分も備えようと思った。

★この図書館では、本と人を繋ぐことが人と人を繋ぐことになるという由良さんの理念や、地域で本に親しむ場所づくりといった活動に共感する会員の支援を受けて運営している。子どもの支援活動に参加させてもらい、子ども達の元気な姿を見ていると力をもらえるように感じた。

<東京からの、ほのぼののニュース>



東京都江東区にお住いの吉田さん母娘は、ご実家の浜寺諏訪森へ帰省されるたびに当図書館に来館されます。4 つのやとは離れているけれど、東京へ届く図書館だよりを楽しみにしているとのお話。この秋には、ご実家のおばあ様も一緒に来館されました。三代揃って本が大好きとの嬉しいお話でした。また、来館されるのをお待ちしております！

<パネルシアターお楽しみに！>



さいとうしのぶ先生から、ご著書「まほうのれいぞうこ」のパネルシアターを寄贈していただきました。楽しい絵本です！そこで、早速スタッフで練習してみました。ボードにどのタイミングで冷蔵庫のスイーツを準備するか…、戸惑いながらもアイデアを出し合いました。そして、「ホットケーキなんかほっとけい！」など、いくつものだじゃれをリズムカルに歌いながら、「実演できる日を楽しみに、もっと練習しよう！」と声を合わせました。皆さんお楽しみに！

<大阪府オーサービジット事業>10 月 7 日(金)浜寺小学校で開催された絵本作家「岡田よししたかさん」の読み聞かせ講演会を取材させていただきました。

岡田さんご本人のハーモニカと歌でのオープニングから始まり、代表作「ちくわのわーさん」「うどんのうーやん」など全部で 6 作品の読み聞かせをしていただきました。作家さんご本人の読み聞かせは、思いや気持ちがこもっていて、迫力満点！で、笑いや拍手満載でした。後半の質問コーナーでは、児童の皆さんからたくさん質問が飛び出し、「なぜ、食べ物の絵本が多いんですか？」「食べ物の絵をたくさん描いていたなら、食べ物が喋ってるように思えたので」など。また、デビュー作「おーい ペンギンさん」は出来上がるまでに何回もやり直して、3 年かかったエピソードのお話もありました。はまでら 4 つのや図書館にも岡田よししたかさんの絵本がたくさんありますので、ぜひ借りて読んでみてください。(岡田)

歴史探訪研修『天理コース』

9 月 29 日(木)、久しぶりの「歴史探訪研修会」に参加しました。講師の土肥俊夫先生はじめ 6 人は、まず天理の駅前広場「コフン」を見てから、長い長い商店街「天理本通」を通り、天理教教会本部へ。太い柱や梁、磨き上げられた床が見事でした。回廊のようになった建物の中を一周すると、お祈りをする人や掃除をする人があちこちにいました。昼食後は物部氏の氏神と言われる石上神宮へ。きれいに並んだ丸い石で組まれた石垣や、重要文化財の楼門が印象的でした。境内では色々な種類のニワトリがのんびり散歩したり、立派な鳴き声を競っていました。ここから南に伸びる「山の辺の道」は桜井市まで続いています。今回は少し雰囲気味わっただけで引き返しました。たくさん歩いて、歴史の勉強にも運動にもなった一日でした。(大木)

次回(一月)の兼題は「マフラー」または自由 * 投句締切 十二月七日(水)	兼題「柿」	俳句ができたよ・きりり十選 八十六号 令和四年 十一月二日
艶やかな柿味はひて至福かな	直子	
柿一つ柿と取り合ふ幼き日	幹子	
渋抜き西条柿は父母の味	勝子	
柿も熟れ百の宇宙よ花道展	勝義	
色変はる柿待つ母の喜々として	ユウ子	
富有柿とびはねあそぶ鳥たちよ	ひとみ	
柿食へば古代ロマンの味がする	昭義	
やれ烏空き家の柿は自由	忍	
秋うらら石垣続く門前町	雅	
ランドセル古き学び舎翳雲	文浩	
匙を手に皿の熟柿と対話かな	芳子	

2022 年 11 月・12 月・2023 年 1 月の開館日時

毎週水・木曜日に開館しています
◎水曜日 14 時～17 時
11 月: 2 日・9 日・16 日・23 日休・30 日
12 月: 7 日・14 日・21 日・28 日休
1 月: 4 日休・11 日・18 日・25 日
◎木曜日 10 時～17 時 (第 2・第 4 木曜日 12 時～)
11 月: 3 日休・10 日・17 日・24 日
12 月: 1 日・8 日・15 日・22 日・29 日休
1 月: 5 日休・12 日・19 日・26 日

2022 年度 NPO 会員募集

2022 年 4 月～2023 年 3 月の会員を募集しています。図書館でも受け付けます。ご支援よろしくお願ひします。
NPO 法人はまでら 4 つのや図書館
◎郵便振込先 00950-9-171544
できるだけ ATM をご利用ください。
◎楽天銀行 支店番号 253
普通 7225222
協力会員 1 口 1,000 円/年
賛助会員 1 口 3,000 円/年
正会員 1 口 5,000 円/年



URL yottunoya-library.com
Mail yottunoya@hotmail.com

所在地: 〒592-8348 堺市西区浜寺諏訪森町中 1 丁 103-1 (浜寺校区文化会館内) 南海本線諏訪ノ森駅東側線路沿路北へ

連絡・・・<<警報(大雨、暴風、地震、津波、他)が発令されたときは、図書館は休館します。>>

2022.11月の新着本より

当月の新着本のリストと紹介文の一部は図書館受付に掲示しています。ホームページにも掲載しています。

2022.12月の新着本より

わけあって絶滅したけどすごいんです 外ウサギ/今泉忠明/丸山貴史

累計90万部のベストセラー『わけあって絶滅しました。』シリーズ最新刊が絵本で登場！絶滅した生き物が、自分の「すごいところ」を次々に語ってくれます。巻末には巨大な「絶滅年表」付き！とびきり楽しく、生き物の進化の歴史がざっくりわかります。(Amazonより)

やあだ！ マリカ・ハリス/木坂涼

なんでも「やあだ！」なこうさぎは、ママになにをいわれても「やあ——だ！」。「おきるじかんよー」「やあだ！」「ごはんのじかんよー」「やあだ！」「そとであそんだら？」「やあだ！」でも、やってみるとたのしくて……。——絵本のさいご、ママのだっこに素直に喜ぶこうさぎが愛らしい、いやいや期のお子さんや、おとうさん、おかあさんにおすすめの絵本です。



クロードッグ 今西乃子



友人もおらずいじめにも遭い、飼い犬の希(のぞみ)を支えにしていた航(わたる)。希は人間から虐待を受け後脚がなかったが、不思議な包容力があり、やがて航にかけがえのない友人を与えてくれる。希の存在が大きくなればなるほど、五体満足な希の姿を切望していく航。やがて航は自由研究で、元の生き物とそっくりにする技術があることを知る。

カレーライスを一から作る 関野吉晴ゼミ

前田亜紀

探検家・関野吉晴が行った、武蔵野美術大学のゼミを追った映画「カレーライスを一から作る」を書籍化。お米、野菜、スパイスを育て、塩を採り、器とスプーンも作り、最後にヒナから育てた鳥を絞め、肉にする。はたして、おいしいカレーはできたのか？学生たちにどんな変化がおきるのか？チャレンジを追ったノンフィクションです。

和宮様御留 有吉佐和子

攘夷か開国かで二分された国論を調停するために、皇妹・和宮は徳川将軍家に降嫁せよと勅命を受ける。彼女の身代りとなされた少女フキは何も知らされないまま江戸へ向かう輿に乗せられる——。大義によって人生を翻弄された女たちの矜持を描き、犠牲になった者への思いをこめた、有吉文学を代表する不朽の名作。

ペイント イ・ヒヨン/小山内園子

事情により子どもを育てられなくなった親が、子どもを預ける「NCセンター」が設立された近未来。そこでは子どもが親を選ぶ面接「ペイント(ペアレントインタビュー)」が行われている。そんなNCセンターに在籍する17歳の少年ジェヌが、この物語の主人公。20歳のセンター退所期限までに親をみつけなければ、センター出身という経歴がIDカードに刻まれる。過去にNCセンター出身者による犯罪が行われたことで、社会にはNCセンター出身者への偏見が存在し、その経歴が刻まれないよう、子どもたちは必死にペイントを続けている。しかし、ペイントにやってくる親候補の多くは、養子縁組することで受け取れる福利厚生が目的。親候補たちのとりつくり笑顔を、透けて見える本音を、ジェヌは瞬時に見抜いてしまう——。

母性 湊かなえ

女子高生が自宅の中庭で倒れているのが発見された。母親は言葉を詰まらせる。「愛能う限り、大切に育ててきた娘がこんなことになるなんて」。世間は騒ぐ。これは事故か、自殺か。……遡ること十一年前の台風の日、彼女たちを包んだ幸福は、突如奪い去られていた。母の手記と娘の回想が交錯し、浮かび上がる真相。これは事故か、それとも——。圧倒的に新しい、「母と娘」を巡る物語(ミステリー)。(Amazonより)

友情 武者小路実篤

主人公野島とその親友大宮における友情と恋愛の相剋-青春のあらゆる問題がこのテーマを中心に展開される、武者小路実篤の数多い作品の中でも、とりわけ多くの若い読者に愛読されてきた永遠の青春小説。

メンドリと赤いてぶくろ 安東みきえ/村尾巨



洗濯されて庭に干されていた赤いてぶくろ。右手と左手がケンカをしています。もち主のゆうちゃんが右ききだから、自分のほうがえらくて立派なんだ、と右手はいばっています。——と、風が吹いて、右手は遠くに飛ばされてしまいました。そこで出会ったのが、若いメンドリ。オンドリのように「コケッココー」と朝を告げたいという夢があるのですが、トサカがないメンドリは、鳴くことができません。「よし、りっぱなトサカになってやろう！」。赤いてぶくろは、はりきってメンドリのトサカ代わりになります——。「自分のままじゃ、いけないの？」と悩むメンドリと、「立派って、なんだろう？」と考えるようになる赤いてぶくろ。冬の日の偶然の出会いが、ふたりの未来を大きく変えます。

スネークダンス 佐藤まどか

芸術の都ローマで生まれ育った圭人は、古い町並みをスケッチするのが好きだった。父親が亡くなったことを機に母と日本に帰国する。住みなれた土地を離れて引っ越してきた東京でも、スケッチしながら歩いていると、忍者のような姿の人が、スプレー缶を持ちダイナミックに落書きしている。なんだこれ?!すごいな。芸術と出会う喜びと挑戦を描く青春小説。

かか 宇佐見りん

うーちゃん、19歳。母(かか)を救うため、ある無謀な祈りを胸に熊野へ。第56回文藝賞、第33回三島賞受賞。世代を超えたベストセラー『推し、燃ゆ』著者のデビュー作。書下し短編「三十一日」収録。

With you 濱野京子

夜のランニング中、中学三年生の悠人は公園のブランコに座っている少女・朱音と出会う。受験を控え、自分の存在意義を見出せないでいた悠人は、何か事情を抱えていそうな朱音に惹かれていく。朱音が母の介護と妹の世話をしている「ヤングケアラー」だと知った悠人は、彼女のために何かしたいと思いはじめる。☆☆☆2021年 青少年読書感想文全国コンクール課題図書 中学校の部☆☆☆

ぞうのマメパオ 藤岡拓太郎

ある冬の日、たまごのおつかいを頼まれたジュンちゃん、たまご屋さんに向かう途中で、迷子らしき小さな象に出会います。ダッ！小さな象は逃げてゆく。「まって！」果たしてジュンちゃんはこの象と仲よくなって、お母さんとお父さんを見つけてあげることができるのでしょうか？



サンタクロース少年の冒険

ライム・ワック・ボーム/畔柳和代/矢部太郎

不死の妖精たちが暮らすバージーの森に、ある日突然赤ん坊が迷いこんだ！クロースと名付けられたその子どもはすくすくと成長するが、人間たちの厳しい暮らしぶりを見て森を出ることを決意。子どもたちに夢を与えるため、玩具作りを始めたクロースだが、世界には人間に嫌がらせをする怪物が跋扈して……。『オズの魔法使い』の作者が子どもたちのために書いたクリスマス・プレゼント。

うつくしが丘の不幸の家 町田そのこ

築21年の三階建て一軒家を購入し、一階部分を店舗用に改築。美容師の美保理にとって、これから夫の譲と暮らすこの家は、夢とあわせの象徴だった。朝、店先を通りかかった女性に「ここが『不幸の家』だって呼ばれているのを知っていて買われたの？」と言われるまでは——。わたしが不幸かどうかを決めるのは、他人ではない。『不幸の家』で自らのしあわせについて考えることになった五つの家族をふっくらと描く、傑作連作小説。

ただいま神様当番 青山美智子

ある朝、目を覚ますと手首から腕にかけて「神様当番」と太くて大きな文字が書かれていた！突如目の前に現れた「神様」を名乗るおじいさんの願いを叶えないと、その文字は消えないようで……。「お当番さん、わしを楽しませて」幸せになる順番を待つのに疲れた印刷所の事務員、理解不能な弟にうんざりしている小学生の女の子、SNSでつながった女子にリア充と思われた男子高校生、大学生の崩れた日本語に悩まされる外国語教師、部下が気に入らないワンマン社長。奇想天外な神様に振り回されていたはずが、いつのまにか彼らの悩みも解決して……。青山美智子氏が贈る、笑えて泣けるエンタメ小説です。巻末には、大人気ミニチュア写真家であり、本作のカバーを手がけた田中達也氏との対談も収録しています。

※掲載している書影、明記のない紹介文は版元ドットコム(https://www.hanmoto.com)より引用しています